

553. 661. 2(521. 83) : 550. 85

岡山県川上郡川上町付近の磁硫鉄鉱床

高島 清

要 旨

調査範囲は川上郡川上町を中心とする地域である。
地質は古生層(粘板岩・砂岩および石灰岩)、中生層(石灰質礫岩・赤色凝灰岩・砂岩・頁岩等)および花崗岩と、さらにこれらを貫く石英斑岩・玢岩からなる。
鉱床は火成岩と石灰岩との接触部に発達する接触交代

鉱床を主とし、粘板岩と石灰岩の境界面、断層等に沿う脈状鉱床も存在する。

鉱床は磁硫鉄鉱を主とし、磁鉄鉱・黄銅鉱・閃亜鉛鉱を随伴する鉱石からなつて、塊状または層状を呈するものが多い。鉱床の規模は山宝鉱山が本地域内で最も優勢である。

551. 661. 2(521. 84) : 550. 85

広島県青滝・馬乗・銅谷鉱山の磁硫鉄鉱床

高島 清

要 旨

広島県青滝・馬乗・銅谷鉱山は、山野川流域猿鳴峡付近の深刻された峡谷中にある。

付近の地質は時代未詳(おそらく古生代と考えられる)の砂岩・粘板岩と、中生界白堊系礫石統に属する石灰石礫岩・赤色凝灰岩と、これらを貫く閃緑岩質玢岩・石英玢岩・石英斑岩等からなる。

鉱床はこれらの貫入火成岩に関係を有すると考えられる接触交代鉱床および鉱染鉱床からなり、青滝・馬乗は前者、銅谷は後者に属する。鉱床の規模は前者が大きい。鉱床を構成する鉱石鉱物は磁硫鉄鉱・黄銅鉱・閃亜鉛鉱・黄鉄鉱および少量の方鉛鉱・輝蒼鉛鉱・ヴェレリ一鉱等からなり、脈石として柘榴石・透輝石・緑泥石・角閃石・灰鉄輝石等を随伴する。

553. 661. 2(521. 84) : 550. 85

広島県佐伯郡吉和村北部地区の地質・鉱床

清島 信之

要 旨

本調査は広島・山口・島根の3県境にまたがる調査地域中、広島県北の一隅である佐伯郡吉和村北部地区を担当した。

付近は古生層(山口層群)が広く分布し、これを貫いて花崗岩類の侵入があり、地質構造も複雑な様相を呈す

る。

鉱床は古生層中に胚胎するものが多く、一部には後期貫入の石英斑岩中にも賦存するが、この場合は一般にこれら鉱床の規模は小さい。たゞ小松原旧坑を中心とする「立岩山」西麓一帯は、その露頭状況、鉱石の性状より今後さらに当地域の地表調査が必要と考えられる。